

平成26年5月21日

総務文教委員会

阿久根市議会

1. 会 議 名 総務文教委員会

2. 日 時 平成26年5月21日(火) 11時46分開会
12時04分閉会

3. 場 所 第1委員会室

4. 出席委員 牟田学委員長、出口徹裕副委員長、仮屋園一徳委員、
牛之濱由美委員、岩崎健二委員、木下孝行委員、
山田勝委員、濱之上大成委員

5. 事務局職員 議事係 東 岳也

6. 会議に付した事件

- ・ 陳情第5号 川内原発1号機2号機の再稼働に反対し廃炉を
求める陳情書
- ・ 陳情第6号 川内原発3号機増設白紙撤回を求める陳情書
- ・ 陳情第7号 原子力発電推進から脱却し原子力に依存しない
自然エネルギー政策に転換を求める陳情書
- ・ 陳情第8号 県民の安全が担保されない拙速な川内原発1・
2号機の再稼働を反対する意見書の提出を求め
る陳情書

7. 議事の経過概要

別紙のとおり

審査の経過概要

総務文教委員長（牟田学委員）

ただいまから総務文教委員会を開会します。

本日は、閉会中の継続審査となっております、陳情第5号、6号、7号、及び、8号を一括して議題とし、審査に入ります。

ここで、各委員のご意見を伺います。

岩崎健二委員

第5号から第8号、いろいろ言葉は違いますが、最後のページをみますと、すべてに原発の再稼働を断念し、ただちに撤退するという文言が入っております。したがって、今、鹿児島県、あるいは薩摩川内市も、その、まだ結論を出していない中で、私なんか阿久根市議会として、早々と結論を出すのはいかかなものかなと思っております。また、先ほどの阿久根市議会の（聴取不能）知事が阿久根市にても再稼働についての説明会を行うという旨の発表をいたしておりますので、進んでおると思っておりますので、その結果を踏まえて結論を出せばいいかと思っておりますので、本日については、継続審査、さらに継続審査をするという結論でいいかなと私は思います。以上です。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

総務文教委員長（牟田学委員）

はい、ほかに。

出口徹裕委員

岩崎委員のほうからあったんですけど、確かに、文言のなかにはですね、趣旨としましては書いてあるんですが、陳情第6号なんですが、6号の陳情事項ですが、この部分に関してはですね、3号機増設の白紙撤回を求める陳情の中の陳情事項については、手続きを凍結している3号機、川内原発3号機の増設計画の白紙っていうことになっているんで、この件に関して言えばですね、わたくし、一般質問でもちょっとしたんですが、市長のほうの回答もですね、白紙っていうふうに考えているというような、議会とそれぞれ違うんですが、この件に関してだけはですね、できないものかと思っております。

総務文教委員長（牟田学委員）

はい。ほかに。

岩崎健二委員

この、陳情書の中にですね、文言の中に、貴議会は原発の再稼働を断念し、すべての原発がただちに撤退する決断を行うことを要望する。という文言が入っているんですね。だから、白紙撤回だけでなく、再稼働の断念という文言がこの中に入っていますので、これを結論を出すとなると、出口委員がおっしゃったとおり、市長も3号機の白紙撤回というような（聴取不能）、そこだけとればいいかもしれないですが、この中に再稼働を断念しということの文言が入っている以上、全体として、どうなのかなということ、継続審査という私は意見を持っているところであります。

出口徹裕委員

確かにですね、言われることはわかるんですけども、この出されているところのがですね、陳情を出されている5号から7号までにおいてですね、本来であればこれ1件まとめて出してもよかったのかなというところであるんですが、書き方等に多少訴えるべきものがそれぞれひとつずつ違うのではないかという私認識を持っておりまして、特に、3号機は陳情事項の中に今1号機2号機に関しての部分が読み取る部分が薄いのかなと思っておりますので、この分に関してだけでもできないものかと思うんですけども。趣旨的には3号機をつくらないということだと思っております。

木下孝行委員

私、趣旨的には3号機の増設、新設、そしてもうひとつのほうは再稼働するかしないかということなんで、趣旨的には仮に違うんだろーと思えますけれども、しっかりと公文書の中で、文言が同じやつが載っているということは、公文書扱いをしたときには、必ずしもその趣旨が違うで通らない部分も出てくると思うので、一括してまとめて最後に私はした方がいいと思えます。

総務文教委員長（牟田学委員）

はい、ほかに。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

私からですけど、陳情の8号であります。その後ろのほうにですね、(1)実効的な避難計画が、策定されていない状況での原発再稼働を行わないことと書いてあるんですけども、阿久根市も説明会を順次開催しておりますけれども、委員会としてですね、きょう、だからこれを(阿久根市地域防災計画原子力災害対策編及び原子力災害対策避難計画)持ってきてもらったんですが、委員会として、このルートの検証をですね、しようかと思っております。またいろいろ伊佐市、芦北市といろいろ避難はありますけれども、そこあたりをですね、執行部とは別に委員会ですね、移動の距離、時間、そしてまた受け入れ先の体育館のひとりひとりの広さ、そこあたりを、検証できないかなというふうに考えてはおりますけども、みなさんのご意見は。

木下孝行委員

確かに今委員長の言った作業は大事だと思います。委員会でもしてもいいかもしれないと思えますけれども、一昨日の新聞を見てますと、市長が大川地区の説明会に状況、意見等を聞いて、今後また避難計画を十分に精査して、また改善をしていかなければいかんというようなことを記事で私は読みましたのですね、委員会として大まかなといいますか、より、十分な避難計画を再度検討してくれというような要望はしていいと思えます。しかし、われわれが、その作業に入るつうのは、大変、われわれで十分な対応はなかなかいろんな人たちを職員も、いわゆる関係者も、含めての大きな作業になると思うんで、大変、期間的、時期的にもその作業を最後までやりきるの難しいから、いや、ある程度もう執行部、市長に対して、十分な避難計画の再確認と、十分な計画をもう一回お願い、意見を踏まえてですね、この今、五か所やっている、そういう避難に対しての要望、そういうのを踏まえた計画をもう一回つくってくれというようなことを委員会として、私はしたほうがいいのかなと思えます。

総務文教委員長（牟田学委員）

はい、ほかに。

仮屋園一徳委員

あの、総務委員会ですので、陳情案件について関連が全くないことはないんですが、計画についてもですね、やはり、これを議会として、そういった計画の見直し等やるのであれば、もう一回全体の中に返してですね、そこで、いや総務委員会で審議してくれということであれば総務委員会で審議していくということになると思うんですけども、やはりこれは、全体的なものとして、現段階では考えたほうがいいんじゃないかと思えます。

総務文教委員長（牟田学委員）

はい、ほかに。

牛之濱由美委員

今、委員長のほうからもちょうとこう出たんですけども、今現在説明会が始まったところで、私も一日目参加させていただいて、市民からの質問等、また、県、市の回答とかいうのを聞かせてもらった時に、本当まだまだこの作成は不十分だなというのが十分わかりました。で、市民からの質問に対して、やっぱり答えられない部分があったんですよ、何か所か、そういうのを見た時に、今、その陳情書の中にもあるように、不十分であるというのが

明らかだなというのは思いました。だから、すべての、すべての説明会が阿久根市内のすべての説明会が終わった時点です。市民のほうからこのような質問があって、ま、行政サイド、県サイドはこのような回答で、この部分がまだ不透明で不十分であるというのを自分たちもやっぱり認識して、いったうえで、また、改めての審議をする必要があるのかなと、まだ、だからそれまでに自分たちでそういう現地まで行ってとかいうのはちょっとまだ必要ないのかなという思いがあります。

総務文教委員長（牟田学委員）

ほかにありませんか。

[発言する者あり]

休憩に入ります。

(休憩 11:57～12:02)

総務文教委員長（牟田学委員）

それでは休憩前に戻りまして開会をいたします。

8号についてはですね、意見がございましたとおり、8号については避難計画について、阿久根市の説明会が終わり次第、執行部を呼んで検証するというところでよろしいですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

それでは、陳情書についてであります。

もう一度5号から8号まで、元に戻してですね、もう一度意見ををお願いします。

[発言する者あり]

それでは、4件とも継続審査ということでよろしいですか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

出口徹裕委員

先ほど言いましたように、できれば、6号についてはですね、なるべく早く決を採っていただきたいなと思うところです。

[発言する者あり]

総務文教委員長（牟田学委員）

よろしいですか。それでは、陳情書の5号から8号までを継続審査とすることにいたします。

次回の委員会開催について、ご意見を伺います。

[「委員長一任」と発言する者あり]

それでは、次回の開催等は委員長に一任願いたいと思いますが、これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

ご異議なしと認め、そのように決しました。なお、開催日等が決まりましたら各委員にお知らせしますので、よろしく願いいたします。

以上で、本日の委員会を閉会します。

お疲れ様でした。

(閉会 12時04分)

総務文教委員会委員長 牟田 学